

1. [子育て支援について]

掛合町会場（掛合総合センター）

Q19：①三刀屋に平成27年に出雲養護学校の分教室が開校すると聞いている。私たちが思っているより早い段階でここまでこぎつけていただいたことについて、関係した方たちに感謝している。子供たちや家族にとって選択肢が増え、地元の方々の理解や関心が増えるのではないかと思う。そこでお願いしたいことだが、親としては、なんとか就職までこぎつけたいと願っている。そのためには地元企業への理解や関心を深めていただけるような働きかけを市の方にもお願いしたい。養護学校は県教育委員会管轄なので県との連携が必要だと思うが、よろしくお願いしたい。

②市長が設立準備委員会の委員長を務めておられる、スペシャルオリンピックスについて。知的障がい者のスポーツ参画だが、それも少しずつ進んでいる。本日たくさんの方たちが来ておられるので、皆さんに関心を持っていただくためにも意見を言わせてもらった。その辺も含めてお願いしたい。

A：出雲養護学校雲南分教室は平成27年開校を目指し準備を進めている。建設場所は三刀屋健康福祉センター裏駐車場、以前特別養護老人ホーム梅里苑があった場所を予定している。有隣会から市へ土地をご寄付いただき、その土地を県へ貸し付け、そこへ県が建設をする。大きな目的として、1点目は現在雲南圏域から養護学校の高等部へ行くには出雲・松江しかなく、生徒、家族の皆さんの負担が大きくこれを解消するため。2点目は就職へつなげるためである。今後は雲南圏域の企業とも連携を図りたい。県立学校ではあるが、当然市教育委員会としても関わっていきたくと考えている。

スペシャルオリンピックスについては、昨年度からキラキラ雲南が島根県の事務局をしている。設立趣旨に沿うように頑張っていきたい。（教育部長）

A：養護学校高等部がせつかく雲南市にできるので、雲南市としても雲南圏域で就職できるよう積極的に就職支援対策を行いたい。

身体障がい者の皆さんが参加するスポーツ競技会はパラリンピック、知的障がい者・精神障がい者の皆さんが参加される組織がスペシャルオリンピックスで4年に1回開催される。47都道府県のうち島根県だけが設立準備委員会はあったものの、実質稼働していなかった。縁あってキラキラ雲南で事務局を引き受けることにした。来年2月正式に島根県支部を立ち上げる。再来年7月には全国大会が福岡県で開催され、28年9月には世界大会がある。島根県から、雲南市からぜひ選手を出したい。どのような立ち場の方でも社会参加を可能にするための事業。しっかりと事務局の仕事を果たせるよう努めてまいりたい。（市長）

要望：広島県でオープン参加した。支部があり運営もしっかりしていた。高校生がボランティアで参加したり、地域のバックアップの中で開催されていた。そういうことを含めて、力を入れていただきたい。